

校長室だより No 30

2019年3月22日

柏市立酒井根東小学校

<http://www.sakainee-e.kashiwa.ed.jp/>

校長 梅津 健志

「2018年（平成30年度）ありがとうございました」

今日で平成30年度の全ての教育活動を終えることができました。

保護者の皆様、地域の皆様、大変お世話になりました。ありがとうございました。

今年は新しい学習指導要領への移行をするため、準備期間の1年目でした。

新しく外国語活動を3年生・4年生に35時間を取り入れ、高学年は英語として70時間の授業を確保して行いました。柏市内では数校がこのような100%の移行対応でした。

さらに、これからの子供たちには、単に知識や技能を身に付けさせるだけではなく、「実際に使えるように身に付けさせる」ということが求められています。実際に使える学力をつけるためにどうすればよいか、先生方全員が授業を通して試行錯誤を繰り返しました。

そこで、算数の授業では、「ぐりとぐら」のお話の中で、ぐりとぐらがお菓子をやりとりした数をどう計算するかを考えました。また学区の地図を出して、バラバラな場所に家がある3人の子が一番早く遊べるのは、下田の杜・中央公園・東小、さてどこでしょうと考え、時速や時間の出し方を学ぶと、子供たちは真剣に考え、話し合いも活発になりました。

教科書の問題をそのまま課題に出すのではなく、実際の場面に置き換えて課題とすることが、子供の本気を引き出し、学習内容が定着することがよくわかりました。

そこで、2019年度は、実際の場面で学習することがメインの「生活科と総合的な学習の時間」に焦点をあてて、例えば、実際の場面で使う文章を、国語の時間に文章で表現する力をつけたり、図工の学習でポスターを描いたり、様々な教科の学習と実際の場面をつないでいく工夫をより一層行っていく予定です。

その総合的な学習の時間「学校として来年度の挑戦」は次のことです。

6年生のキャリア教育を発展させて、1年間かけて光ヶ丘商店街と学校がタッグを組み、光ヶ丘商店街のイベントを6年生が企画して実現するという学習単元づくりを試みます。

3学期に開催されるイベントに向けて1年をかけて試行錯誤し、その中で働くとは何か、人に喜んでもらうとは何か、どうすれば人の役にたてるか、などを子供たちが考え、実行していけるように、と考えております。

数年かけてこの学習単元をしっかりとしたものとしていくことにより、東小で6年間学んだ結果の姿として、地域の皆様とも共有できるようになり、学校と地域のより一層つよい信頼関係にもつながっていくと信じて実践をして参ります。

様々な面からのお力添えをよろしくお願いいたします。

次に今年は多くのボランティアの皆様を支えていただいたことに重ねて感謝を申し上げます。

図書館が毎朝開かれ、休みの日には花壇に水が注がれ、草取り、トイレ掃除、窓ふきと子供の方では難しいところが定期的に清掃され、英語の授業の半分を学生と一緒にいき、防災公園の持久走大会では会場整理と警備が完璧になされ、町会の朝・帰りの交通見守りボランティア、その交代が意識の高まりにつながり、生活科や総合の時間に地域の方々が多く入り、学級委員さんの呼びかけでの授業支援が大変多く実施されました。

次年度はさらにこれをさらに発展させ、再来年にはコミュニティースクールとして新しい学校の姿が実現できるよう、一步一步確実に歩んで参りたいと思います。

今後とも、よろしくお願いいたします。本年度はありがとうございました。